

寫
戰例第一號

ENUANG

三羽見

白石村分遣隊卒庄附近之戰鬥概要

PAI-SHIH
T'UN

(昭和十五年十二月二十五日 自一〇、〇〇〇
至一七、〇〇〇)

戰前於ケル彼我形勢ノ概要

白石村分遣隊ハ本年六月前分遣隊長故武市軍曹警備シアリシル當時野庄附近ニ有カナル敵ノ侵入シタル報ニ依リ攻襲ノ為前進中卒庄ニ於テ一部ノ敵ト遭遇シ爾後優勢ナル主クト戦ヲ繼續中、由庄分遣隊ノ機宜ニ適ル救援ニ依リ遂ニ約ニ倍ニ餘ル敵ヲ大打撃ヲ與ヘテ之ヲ退退セルトアリ
現今遣隊ハ六月下旬以來警備ノ任ニ就キアリシカ偶、十二月二十五日七時頃ハ路軍工作員三名卒庄部落内在リ

0144

テ糧秣徴發中ナリ依ツテ捕獲方損ハ旨辛庄村村民ヨリ
ヲ報ニ接シタル村民ノ態度等ニ不審ノ矣アリシヲ以テ分遣隊
長、長谷軍曹ハ該村村民ヲ更ニ追及取調タル結果、路軍
約三百辛庄部落周回山頂ニ伏在シアルヲ推知シ得
タリ、茲ニ於テ分遣隊長、直ニ該敵ノ攻襲ヲ決意シ
分遣隊ノ守備及所要ニ應ジ彈藥補充ニ任セシムル爲分
遣隊中十二名(他ニ中國警備隊一名)ヲ残置シ分遣隊
長、長谷軍曹以下十一名(他ニ中國警備隊三名)ハ八時
五十分出動準備並ニ陸地守備彈藥補充準備ヲ完
了ス

長谷軍曹ハ敵情ヲ報告ニ來リシ村民ノ態度其他ヨリ考
察シ必クヤ敵ハ我ヲ誘致シテ掩襲セント企圖シアルモノト
判断シ捷路ナル峪地道ヲ避ケ制高地莫タル辛庄村北側

0145

高地ヨリ該敵ヲ攻襲スベク決意シ且其近接ヲ容易ナラシム
爲全員便衣ヲ著シ先ヅ後線ニ沿フテ白石村東側A高
地ニ向テ前進ヲ開始ス

ニ交戦セシ彼我ノ兵力並ニ敵ノ裝備

ノ彼 晋察北翼辺區軍獨立第二師第四團ノ部約

五〇〇裝備稍ニ良好ニシテ迫撃砲及子玉ニ輕機

相當數ヲ有ス

之我 白石村分遣隊長 長谷軍曹以下十一名

中國警備隊 三名

三 戰場附近ノ地形

山ハ岩石露山シ急峻攀登容易ナラス又多數ノ小地隙
アリテ部隊ノ行動困難且樹木ナシ

白石村ノ庄間ノ道路ハ河床道ニシテ最捷路ナルモ河床
巾約百米ニ面稍大ナル礫石散在シアリテ平時流水ナシ

四 戦斗経過ノ概要 (別紙要圖参照)

長谷軍曹以下十名(他中國警備隊三名)八九時白石村ヲ出發白石村東側高地綾線ヲ前進九時三十分辛庄村北側A高地ニ到着シ附近ノ敵情ヲ偵察セシ之何等異狀ヲ認メズ然シテ長谷軍曹ハ敵ノ掩襲ヲ考慮シ松本伍長以下五名(輕機一ヲ含ム)ヲ制高地ニ突タルA高地ニ残置シ機ニ應テ得ル如ク區處シ残余ヲ卒ニ至數ナル警戒裡ニ辛庄部落ニ向ケ下山ス

中腹B附近ニ至ルマ潜伏シアリタル敵約六ノ猛射ヲ受ケルモ直チニ之ヲ退却シ部落内ニ潰走セシム

其時辛庄部落内ニ敵百數十在ルヲ知リ一部ヲ高地端Cニ残置シテ掩護ニ任ビシム他ノ部ヲ以テ部落内ニ突入ス

シタルモノナリ、遂次戦死傷者ヲ搬送シツ、野庄方面ニ退却
ヲ開始セルヲ認ムルニ至レリ

然レドモ北方ノ高地ノ敵ハ依然抵抗頑強ニシテ猛烈ナル射撃
ヲ集注シ却テ攻雲前進ノ氣勢ヲ示スニ至レリ

茲ニ於テ長谷軍曹ハ戰場一般ノ地形上先ツ此ノ敵ヲ山頂
ヨリ驅逐スルニアラバ戰場ヲ支配スルヲ得ズト判断シ輕機

掩護ノ下ニ反轉シ十四時最初ノA高地(松本伍長以下五
名ヲ残置)ニ進出ス此ノ間彈藥補充ノ爲兵一名ヲ白石

村分遣隊ニ連絡セシム

分隊主カク該高地ニ進出スルヤ其ノ北側ニ高地ヨリ敵約
百發線ニ至ルニ攻雲前進シ來ル

長谷軍曹ハ直チニ此ノ敵ヲ反雲セント決意セルモ此ノ時既ニ
彈藥缺乏セルヲ以テ一時現在ノ高地ニ於テ敵ヲ拒止シツ

補充ヲ待チ十五時ニ及ブ此ノ時豫テ出發ニ當リ準備ヲ命
シアリシ残留者中ノ六名ニ依リ補充彈藥ハ分隊ニ到著
セリ、茲ニ於テ分隊ハ彈藥補充ノ六名ヲ如ヘ輕段ノ掩護ノ
下ニ猛然前カ①ノ高地ニ對シ攻惠ヲ再興シ十六時突惠
ヲ敢行該高地ヲ占領セリ

茲ニ於テ敵ハ我猛攻ニ耐ヘズ東南方ニ退却セリ次デ分隊
ハ最初ヨリ我側背ニ對シ執拗ナル抵抗ヲ爲セシ辛庄東北側
①高地ノ敵ヲ其ノ右側背稜線上ヨリ攻惠之ヲ東方ニ潰走
セシム 然レドモ分隊ハ兵力ノ寡少ナル地形ノ關係上追
惠至難ナルヲ思ヒ之ヲ断念シ歸還ノ途ニ就キ全員志氣
旺盛十七時三十分白石村ニ歸還ス

五 中庄(白石村西方約二里餘)中間ニ五峯山一帯ノ稜線連(三
ス)分遣隊長尾花軍曹(外隊以下十三名)八十一時頃白石
石村方向ニ迫惠砲彈ノ爆音ヲ次テ十四時三十分頃又ニ發

爆音ヲ聞キ本年六月故武市軍曹が白石村分遣隊長當
 時ニ於ケル辛庄附近ノ戦例ニ鑑ミ直チニ救援ヲ決意シ其
 ノ準備中十四時五十分原平鎮部隊本部ヨリ電話ヲ
 以テ白石村方向ノ戦況ト急援命令ヲ受領シ直チニ部下
 九名及中國警備隊五名ヲ指揮シ白石村ニ向ヒ急行ス
 救援部隊ハ十六時三十分白石村ニ到着シ残留者ヨリ狀
 況ヲ聽取シ更ニ白石村分遣隊長カノ現在地タル辛庄南ヲ
 A高地ニ向ヒ前進セントスル中銃声ハ又長谷軍曹以
 下既ニ歸還ノ途ニアルヲ知り其ノ歸著後中庄ニ歸還ス

六 戦果

敵遺棄死体

三四

我損傷

ナシ

七 將來ノ爲メ参考事項

1 全員一致團結熾烈ナル攻襲兼陣ヲ以テ奮斗シタルコト
而シテ分遣隊長以下警備ノ任ニ就テ以來常ニ本年
六月同地ニ於ケル前分遣隊長故武市軍曹以下ノ壯
烈ナル戦例ニ刺戟セラレタルコトハ火ナル原因タルモノト認メ
ラル

2 村民報其他ノ情况等ニ對スル敵情判断適切ニシテ
敵ノ掩襲企圖ヲ予察シ必地ノ前進ヲ避ケ制高地点ヲ
占據シ爾後ノ変ニ應ズル處置ヲ爲ス等慎重ニ行動
シタルコト

3 出發ノ前子メ彈藥補充ニ對シ區處ニ置キタルコト

4 中庄分遣隊長尾花軍曹、決心ハ可ナルモ其ノ進出方
向ハ適切ナラズ又其ノ進出時機モ稍ニ遅レル感アリ
即チ之ヲ前同六月ニ於ケル故武市軍曹當時ノ戦斗ニ
際シテ山本軍曹ガ後敵ニ直路辛庄南方高地線ニ火

間隔ニ疎開シテ欺騙行動ヲ以テ敵ヲ脅威シタル處置
ニ比スレバ遜色アリ

5. 全員便衣ヲ著シタルガ爲敵ヲシテ誤認セシメ最初ノ攻襲
ニ於テ敵ノ意表ニ出デタルモ爾後村落内ニ突入シタル際
後方ノ射撃部隊ハ彼我ノ識別困難ニシテ爲ニ射撃
ノ好機ヲ逸シタルコトアリ

6. 辛庄ノ部落民ハ平素ヨリ我今遣隊ニ十分ノ好意ヲ
有シ今遣隊亦之ヲ信賴シタルニ拘ラス敵ノ強迫ニ
依リ虚偽ノ報告ヲ爲シタル事實鑑ミ將來ト雖モ
敵襲甚時等ニ於ケル在民ノ報告ヲ受ケタル際ハ特ニ其
ノ態度等ニ注意ヲ要ス

7. 朝來晝食ヲモ爲スコトナク戰鬥シタル等如クスヘキ点ナ
キニアラザルモ救援部隊ト合シ(少クモ救援部隊火ニシテ)

8

追害少クモ追躡ノ處置ニ出テザリシハ遺憾ナリ

敵ハ前同故武市分遣隊長當時ノ襲害失敗ニ鑑ミ最
初ヨリ掩害ノ態勢ヲ採リ白石村分遣隊ヲ誘致殲滅
ヲ企圖シアルモ長谷軍曹ハ之ヲ予察シ敵ノ意表
ニ出テ其ノ企圖ヲ挫折セシムルニ至レリ
即チハ分遣隊等ニ於テハ一度敵ノ襲害ヲ受ケタル場合
其ノ方法ト次同ノ襲害ニ於テ敵ノ採ルベキ手段トヲ
研究シ爾後敵ノ攻害ヲ備フルノ著意特ニ必要ナリ

辛庄附近戦事經過要圖

昭和十五年十二月二十五日 自九時三十分 至十一時三十分

